

薬局での調剤の手順について

令和6年5月

1

「オンライン診療の適切な実施に関する指針」
の記載について

2

指針の記載：緊急避妊薬の調剤について

- 初診からオンライン診療を行う医師は1錠のみの院外処方を行うこととし、
- 受診した女性は、薬局において研修を受けた薬剤師による調剤を受け、薬剤師の面前で内服することとする。
- その際、医師と薬剤師はより確実な避妊法について適切に説明を行うこと。
- 加えて、内服した女性が避妊の成否等を確認できるよう、産婦人科医による直接の対面診療を約3週間後に受診することを確実に担保することにより、初診からオンライン診療を行う医師は確実なフォローアップを行うこととする。

(注)

- 厚生労働省は、初診からのオンライン診療による緊急避妊薬の処方に係る実態調査を適宜行う。
- また、研修を受講した医師及び薬剤師のリストを厚生労働省のホームページに掲載する。

「オンライン診療の適切な実施に関する指針」平成30年3月（令和元年7月一部改訂）より。下線は追記。

3

厚生労働省のホームページ

The screenshot shows the homepage of the Ministry of Health, Labour and Welfare. The main navigation bar includes links for 'Home', 'News', 'Policy', 'Statistics', 'White Paper', 'Application', 'Recruitment', and 'Information Disclosure'. The breadcrumb trail is: 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医療 > 緊急避妊に係る取組について. The main heading is '緊急避妊に係る取組について'. Below it, there are several links: '施策紹介', '関連通知', '緊急避妊に係るオンライン診療について', '研修を終了した医師の一覧', and '「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に基づく薬局における対応について'. Red annotations with arrows point to these links and the text '緊急避妊にかかる対面診療が可能な産婦人科医療機関等の一覧' and 'オンライン診療に係る緊急避妊薬の調剤が対応可能な薬剤師・薬局の一覧'. The footer of the page shows the URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000186912_00002.html and the page number 4.

厚生労働省のホームページで公表されている情報

緊急避妊に係る対面診療が可能な産婦人科等の医療機関(都道府県別)

- ・施設名
- ・ウェブサイトURL
- ・所在地
- ・産科、婦人科、産婦人科の標榜の有無
- ・電話番号
- ・緊急避妊に係る対面診療への対応可能時間帯
- ・常時の緊急避妊薬の在庫の有無

(都道府県宛、令和元年9月13日付、医政地発0913第1号・医政医発0913第1号)

緊急避妊に関する研修を研修を修了した医師の一覧

- ・都道府県
- ・研修を修了した医師氏名
- ・医療機関名

オンライン診療における緊急避妊薬の調剤が可能な薬局

- ・都道府県
- ・開局時間
- ・薬局名
- ・時間外対応の有無
- ・薬局所在地
- ・時間外の電話番号
- ・電話番号
- ・研修を修了した薬剤師氏名
- ・FAX番号

(都道府県宛、令和2年4月2日付、薬生総発0402第2号)



5

薬局における調剤の手順について

6

国内で承認を取得した緊急避妊薬

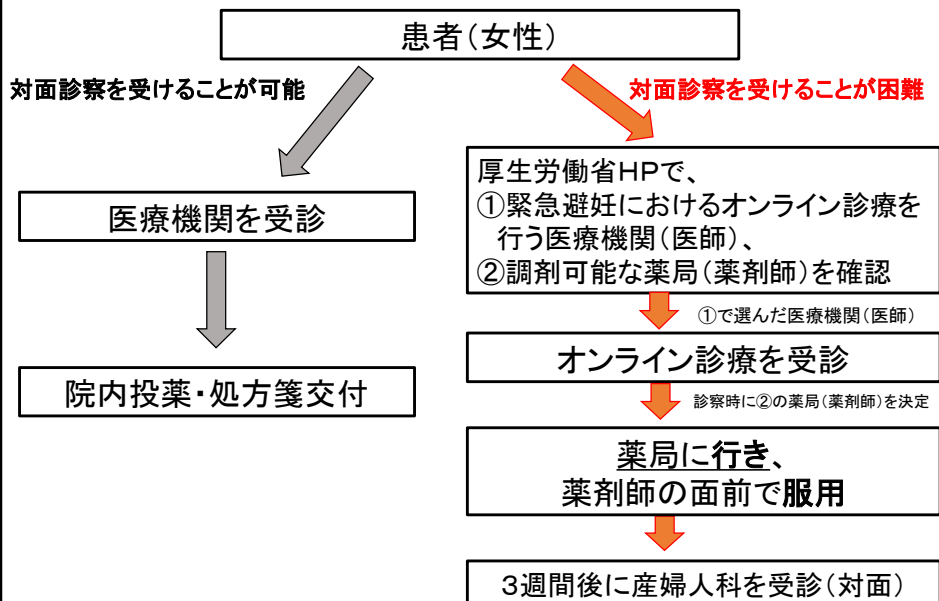
2021年3月末現在

販売名	ノルレボ錠1.5mg	レボノルゲストレル錠1.5mg「F」
製造販売会社	あすか製薬株式会社	富士製薬工業株式会社
販売開始時期	2016年4月	2019年3月
写真		
区分	処方箋医薬品	
薬価	薬価基準未収載	

※薬価を決める規則はない。

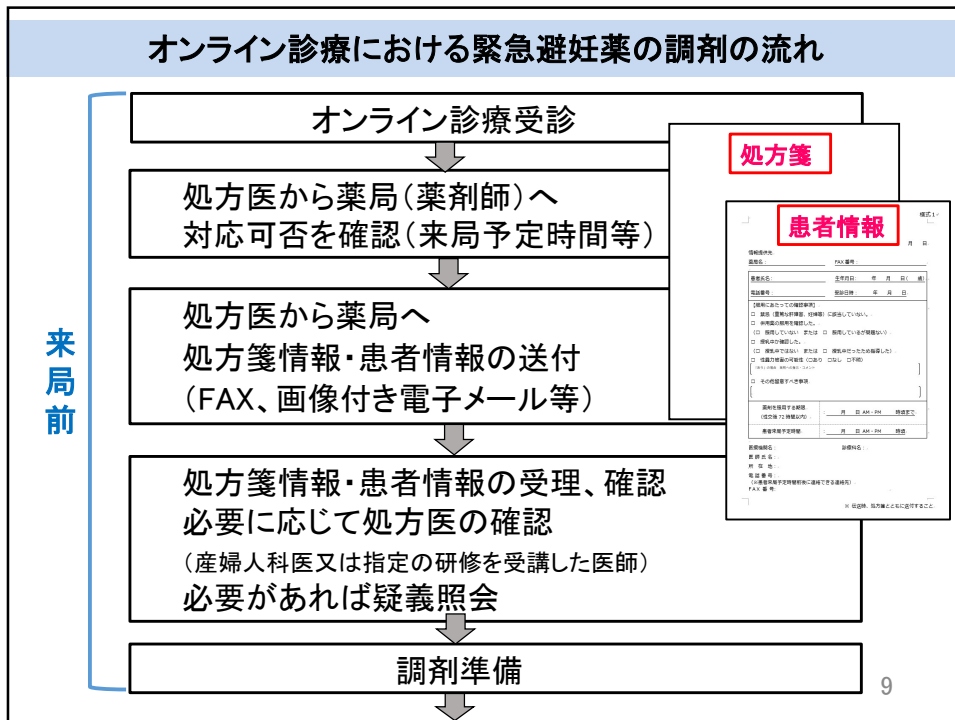
7

緊急避妊薬が交付されるまで



8

オンライン診療における緊急避妊薬の調剤の流れ



処方医⇒薬局

患者情報

- ・患者の氏名、生年月日、連絡先
- ・オンライン受診日時
- ・対応医師の氏名、連絡先
- ・患者来局予定時間
- ・薬剤を服用する期限
- ・服用にあたっての確認事項
- ・その他留意すべき事項

など

緊急避妊薬に特する情報提供書 (医師⇒薬局薬剤師) 様式 1

年 月 日

情報提供先
薬局名: _____ FAX番号: _____

患者氏名: _____ 生年月日: 年 月 日 (歳)
電話番号: _____ 受付日時: 年 月 日

【服用にあたっての確認事項】

禁忌 (重篤な肝障害、妊婦等) に該当していない。

併用薬の服用を確認した。
(服用していない または 服用しているが問題ない)

授乳中か確認した。
(授乳中ではない または 授乳中だったため中断した)

性暴力被害の可能性 (あり なし 不明)

{ (※) 併用薬: 薬師へ照会・コメント }

その他留意すべき事項

{ }

薬剤を服用する期限
(性交後72時間以内): _____ 月 日 AM・PM 時迄まで

患者来局予定時間: _____ 月 日 AM・PM 時迄

医師所属名: _____ 診療科名: _____
医師氏名: _____
所在地: _____
電話番号: _____
(※患者来局予定時間前までに連絡できる連絡先)
FAX番号: _____

※ 伝送時、処方箋とともに送付すること

オンライン診療における緊急避妊薬の調剤の流れ

来局後

処方医へ服薬情報提供書を用いて
情報提供(服用した時間等)

処方箋原本の受理、確認
調剤録の作成

求めに応じて3週間後の対面診療の産婦人科医に
服薬情報の提供

緊急避妊薬に関する服薬情報提供書 (調剤薬剤師→医師)

様式 4

年 月 日

服薬情報提供書

情報提供元
医療機関名: _____ FAX 番号: _____
薬剤師氏名: _____ 種 _____

患者氏名: _____ 生年月日: _____ 年 月 日 (歳)

【報告事項】

服用日時: _____ 年 月 日 AM・PM 時 分

禁忌事項について確認した。

より確実な避妊法について適切に説明した。

約3週間後に産婦人科医による医師の対面診療を受診することを説明した。

その他 _____

対面診療を行う予定の医療機関名: _____
対面診療を行う予定の医師名: _____

薬 局 名: _____
薬剤師氏名: _____
所 在 地: _____
電 話 番 号: _____
FAX 番 号: _____

13

薬局⇒処方医 服薬指導情報

- ・患者の氏名、生年月日
- ・服用日時
- ・対応薬剤師の氏名、連絡先
- ・適切な避妊法を説明した旨
- ・3週間後の受診勧奨をした旨
- ・その他留意すべき事項

など

緊急避妊薬に関する服薬情報提供書 (調剤薬剤師→医師)

様式 4

年 月 日

情報提供元
医療機関名: _____ FAX 番号: _____
薬剤師氏名: _____ 種 _____

患者氏名: _____ 生年月日: _____ 年 月 日 (歳)

【報告事項】

服用日時: _____ 年 月 日 AM・PM 時 分

禁忌事項について確認した。

より確実な避妊法について適切に説明した。

約3週間後に産婦人科医による医師の対面診療を受診することを説明した。

その他 _____

対面診療を行う予定の医療機関名: _____
対面診療を行う予定の医師名: _____

薬 局 名: _____
薬剤師氏名: _____
所 在 地: _____
電 話 番 号: _____
FAX 番 号: _____

14

オンライン診療における緊急避妊薬の調剤手順

様式 2

緊急避妊薬の調剤における薬剤師の対応手順

<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ②処方箋及び情報提供文書の内容を確認する。 送信元が産婦人科以外の場合、処方箋が研修を修了しているか確認する。<input type="checkbox"/> ①患者がオンライン診療を受診した本人であることを確認する。<input type="checkbox"/> ③患者の心理状態等に心を寄せて対応する。<input type="checkbox"/> ③プライバシー空間の確保を心がける。 (場所(個室・パーティションの利用)、声の大きさ・トーンなど)<input type="checkbox"/> ④調剤済みの薬剤と飲料水・紙コップなどを用意する。<input type="checkbox"/> ③患者に禁忌を確認し、副作用などを説明する。<input type="checkbox"/> ⑥患者が服用したことを確認する。<input type="checkbox"/> ⑦処方箋に薬局における対応内容について報告する。<input type="checkbox"/> ④本手順書をチェックした上で、他の患者情報とともに保存する。
<p><③における説明内容></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 服用後に嘔吐など副作用が起きた場合の対応を伝える。<input type="checkbox"/> 約3週間後に産婦人科薬による直接の対面診療を受診することを説明する。 ※可能であれば、受診先医療機関を決めてもらう。<input type="checkbox"/> 確実な避妊法について説明する。<input type="checkbox"/> 何か質問があるかを聞き、適切に答える。

※対応した項目にチェックを付けること。

15

こんな時、どうする？

16

ケース 1

本人確認ができない場合

ケース 2

本人以外（親族・パートナーなど）が来局した場合

ケース 3

患者が面前で服用できないと申し出た場合

いずれのケースも、調剤不可

指針において「薬剤師の面前で内服すること」とされている。

17

ケース 4

来局予定時間になっても本人が来局しない場合

必要があれば、患者又は処方医に問い合わせる。

処方医から薬局に送付する患者情報には、患者の連絡先が記載されている。

ケース 5

患者がオンライン診療を受けずに
直接、薬局に来てしまった場合

調剤不可。相談に応じ、適切な情報提供を行う。

（例）緊急避妊の診療が可能な医療機関、ワンストップ支援センター等の機関を伝える、又は、探す方法を伝える等。

18

ケース 6

処方箋に緊急避妊薬以外の薬剤と一緒に記載されている。

そのままでは調剤不可。処方医に照会し、緊急避妊薬のみの処方としてもらう。

指針において「オンライン診療を行う医師は1錠のみの院外処方を行うこと」とされている。

ケース 7

研修修了薬剤師が不在の場合

調剤不可。

指針において「研修を受けた薬剤師による調剤を受けること」とされている。

19

ケース 8

患者への請求額は？

薬局において予め請求額を設定しておく。

緊急避妊薬の調剤は保険適応外であるため、患者が全額を自己負担する。

20

確実な調剤

- 緊急避妊薬は女性にとってメリットが多く、医師が処方
を敬遠しなくてもよい薬剤の1つ
- オンライン診療で緊急避妊薬の処方を受けた患者が時間
内に確実に服用できる環境が必要
 - 薬局の応需体制に委ねられている。
 - 「地域に医薬品を過不足なく供給する」という薬剤師・薬局の使
命を果たす。
 - 地域における薬局間連携も必要である。
- オンライン診療の指針に沿って、確実な調剤を行う。
 - 調剤に際しては、手順書に沿って、本人確認、服薬確認、服薬指
導、避妊法の情報提供、3週間後の産婦人科受診の伝達を責任を
持って遂行する。

21

患者対応等について

令和6年5月

22

薬局での患者対応①

薬剤師*が行うこと

- ① 患者がオンライン診療を受診した本人であることを確認する
- ② 患者の心理状態や社会状況に心を寄せる
- ③ プライバシー空間の確保や話しやすい環境に心がける
 - ・ 対応場所（個室・パーテーションの利用）の配慮
 - ・ 声の大きさやトーンの配慮
 - ・ 飲料水・紙コップなどを用意
- ④ 服薬指導を行い、服用後の注意事項を伝える
- ⑤ レボノルゲストレル製剤（1錠）を面前で服用させる
- ⑥ より確実な避妊法について説明する <説明を控える場合があることに注意>
- ⑦ 約3週間後に必ず産婦人科医の対面診療を受診するように伝える
- ⑧ 何か質問があるかを聞き、適切に答える
- ⑨ 「お薬情報提供文書」に必要事項を記入して患者に渡す

(*研修修了者)

23

薬局での患者対応①

薬剤師*が行うこと

- ① 患者がオンライン診療を受診した**本人であることを確認する**
- ② **患者の心理状態や社会状況に心を寄せる**
- ③ **プライバシー空間の確保や話しやすい環境に心がける**
 - ・ 対応場所（個室・パーテーションの利用）の配慮
 - ・ 声の大きさやトーンの配慮
 - ・ 飲料水・紙コップなどを用意
- ④ 服薬指導を行い、服用後の注意事項を伝える
- ⑤ **レボノルゲストレル製剤（1錠）を面前で服用させる**
- ⑥ **より確実な避妊法について説明する** <説明を控える場合があることに注意>
- ⑦ **約3週間後に必ず産婦人科医の対面診療を受診するように伝える**
- ⑧ 何か質問があるかを聞き、適切に答える
- ⑨ 「お薬情報提供文書」に必要事項を記入して患者に渡す

(*研修修了者)

24

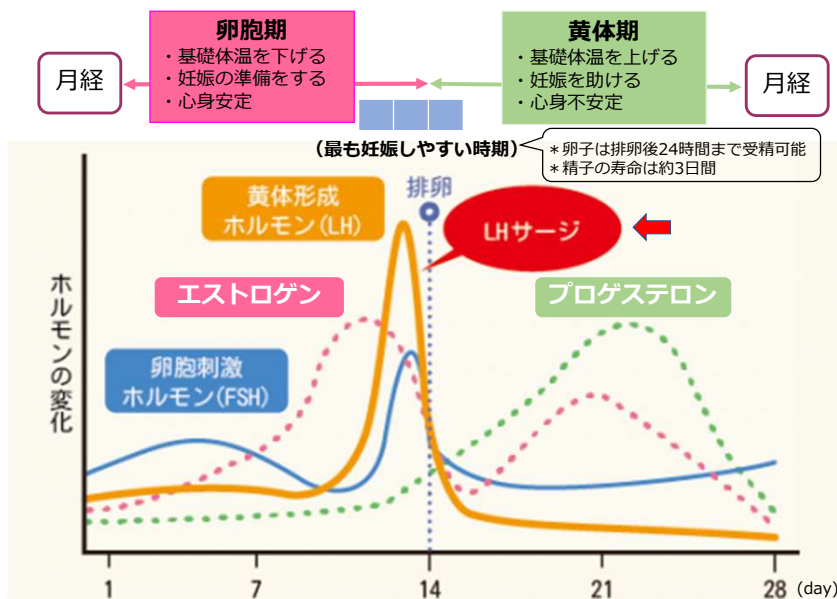
薬局での患者対応②

薬剤師に必要な基礎知識（1）

- ① 女性ホルモンの変化と働き
- ② 卵子、精子の寿命
- ③ 最も妊娠しやすい時期

25

女性ホルモンの変化



薬局での患者対応②

薬剤師に必要な基礎知識（2）

- ① 緊急避妊薬の慣用的な呼び名
- ② 緊急避妊薬の有効成分と製剤
- ③ 緊急避妊薬の薬理作用
- ④ 緊急避妊薬の臨床効果（妊娠阻止率）
- ⑤ 薬剤師の面前で服用させる理由
- ⑥ 緊急避妊薬の副作用
- ⑦ 緊急避妊薬を服用後に嘔吐した場合の対応
- ⑧ 緊急避妊薬の禁忌
- ⑨ 緊急避妊薬の薬物・食品間相互作用
- ⑩ 授乳婦への注意
- ⑪ 約3週間後に産婦人科医師による対面診療が必要な理由
- ⑫ より確実な避妊法

27

参考資料・参考文献

- ノルレボ®錠1.5mg添付文書
- ノルレボ®錠1.5mg医薬品インタビューフォーム
- レボノルゲストレル錠1.5mg「F」添付文書
- レボノルゲストレル錠1.5mg「F」医薬品インタビューフォーム
- ノルレボ®錠1.5mg製品概要書
- ノルレボ®錠1.5mg患者向医薬品ガイド
- あすか製薬株式会社 患者用パンフレット各種
- くすりのしおり
- 日本産婦人科学会編 緊急避妊法の適正使用に関する指針（平成28年度改訂版）
- 北村邦夫, 第8回男女の生活と意識に関する調査報告書（日本家族計画協会, 2017）
- PHARMACIST'S LETTER / PRESCRIBER'S LETTER
November 2016~Resource #321110
Emergency Contraception: FAQs (Therapeutic Research Center, USA)
- Robert A. Hatcher, Contraceptive Technology 21st ed., Sep.1, 2018

28

緊急避妊薬の 慣用的な 呼び名

アフターピル

モーニングアフターピル

EC

エマージェンシーピル

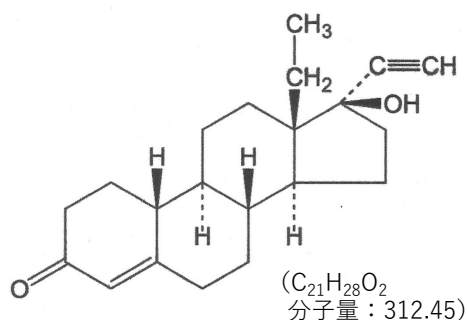
ノルレボ

プランB (Plan B One-Step,
Option 2, Take Action)

29

緊急避妊薬の有効成分と製剤

合成黄体ホルモン（ノルゲストレル）の左旋性（levo体）光学異性体
レボノルゲストレル Levonorgestrel (LNG)



【効能・効果】緊急避妊

【用法・用量】

性交後 72 時間以内に
1.5mgを 1 回経口投与

【製剤】白色素錠

**10分以内に崩壊し、
急速に吸収される**

0.75mg錠 フランス/USA(1999),EU(2000),
日本(2011)
1.5mg錠 EU(2003),フランス(2004),USA(2006),
日本(2016)
1.5mg [F]錠 日本(2019)

30

緊急避妊薬の薬理作用

【排卵抑制作用】
【排卵遅延作用】

着床への影響はほとんどない、あるいはまったくない

<考えられる作用機序>

LNGは合成黄体ホルモンであるノルゲステレルの光学異性体である

LNGが吸収されて急激に血中濃度が高まると体内のホルモンバランスが変化する



体が妊娠した状態にあると勘違いして、脳下垂体からのホルモンを分泌しなくなる



LHサージの消失や遅延により、卵巣からの排卵が抑制される（作用は5～7日間続く）

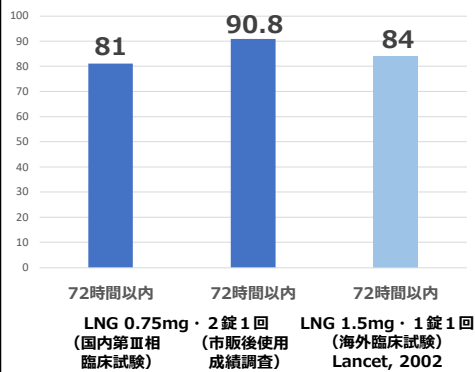
LNG服用により妊娠しなかった場合には、服用後3～7日以内（人によっては2週間後）に出血（月経）がおこる

31

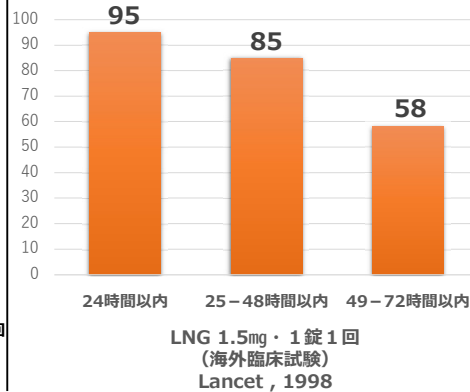
緊急避妊薬の臨床効果

$$\text{妊娠阻止率} = \frac{\text{妊娠予定数} - \text{実際の妊娠例数}}{\text{妊娠予定数}} \times 100 (\%)$$

妊娠阻止率 (%)



性交からECまでの時間による妊娠阻止率 (%)



32

薬剤師*の面前で服用させる理由

- ① 性交後できるかぎり速やかに服用
(性交後72時間以内の投与)
服用までの時間が速いほど臨床効果は高い
- ② 患者本人の確実な服用を確認
- ③ 緊急避妊薬の不正な入手の防止

(*研修修了者)

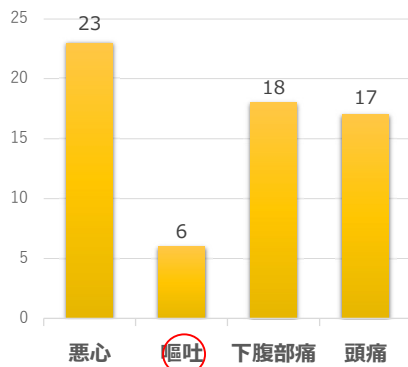
33

緊急避妊薬の副作用

副作用発現率 (%)

LNG 1.5mg 1錠1回

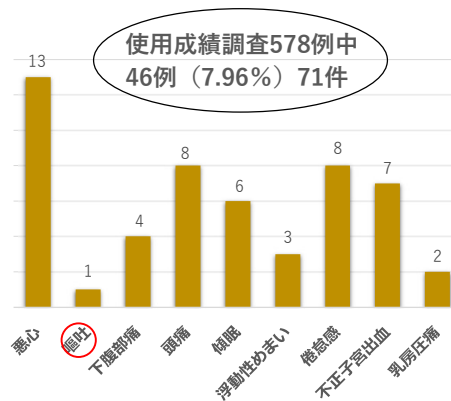
(WHOが行った試験; Lancet, 1998)



国内再審査終了時の

副作用発現件数 (件)

LNG 0.75mg 2錠1回 (2016)



34

服用後に嘔吐した場合は どうすればよいか？

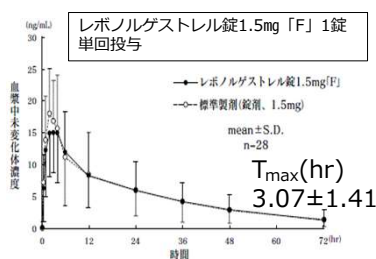
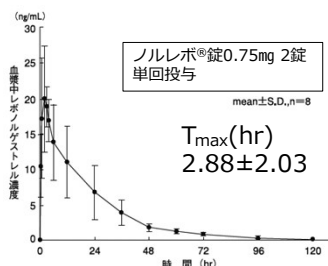
•服用後2時間以内に嘔吐 した場合

(血中LNG濃度がピークに達する前に
薬剤が吐物といっしょに吐き出されて
しまった可能性が高い)

「追加服用の必要がある
かもしれないので、すぐ
に処方してもらった医師
に相談してください」

•服用後2時間を経過して から嘔吐した場合

「心配ありません」



35

緊急避妊薬の禁忌

1. 本剤の成分（黄体ホルモン）に対し過敏症の既往歴のある女性
2. 重篤な肝障害のある患者
代謝能が低下しており、肝臓への負担が増加するため、
症状が増悪することがある
3. 妊婦
成立した妊娠には効果がなく、妊娠している女性には
有益性がない

妊娠初期・中期に投与した場合には、女性胎児の外性器
の男性化又は男性胎児の女性化が起こることがある

36

**「妊娠初期・中期に投与した場合の女性胎児の外性器の男性化
または男性胎児の女性化がおこることがある」**

<根拠となる文献について>

緊急避妊薬レボノルゲストレル錠のインタビューフォームでは、LNG自体の実証データによるものではなく、他の黄体ホルモン製剤で報告されているので本製剤添付文書にも記載したとなっている。

経口黄体ホルモン製剤のプロゲストン錠（メドロキシプロゲステロン酢酸エステル）やメノエイドコンビパッチ（卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤）など、黄体ホルモンを含む複数の製剤の添付文書には同様の記載がある。しかし、それら黄体ホルモン製剤の添付文書に根拠となる文献の記載はない。

根拠となりうる臨床報告は、昭和30～40年代の文献にある。
 (例) 百瀬剛一ほか；女性仮性半陰陽症例（経口的黄体ホルモン投与に起因する？）
 泌尿器科6巻8号, 673-681（昭和35年8月）…女児の外陰部奇形で男児として届出

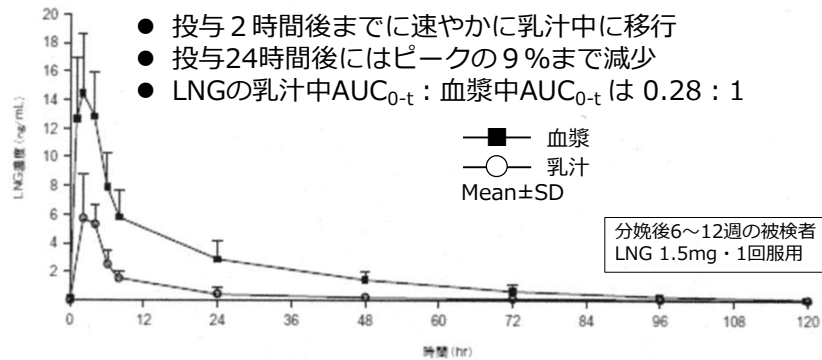
現在、服用している薬や食品がある場合

併用注意

薬剤名	機序	臨床症状・措置方法
抗けいれん薬（フェノバルビタール・フェニトイン・プリミドン・カルバマゼピン） HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル） 非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤（エファビレンツ） リファブチン リファンピシン	これらの薬剤が肝の薬物代謝酵素（CYP3A4）を誘導し、 <u>本剤の代謝を促進する</u>	本剤の 効果が減弱 するおそれがある
セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 <サプリメントやハーブ>	セイヨウオトギリソウが肝の薬物代謝酵素を誘導し、 <u>本剤の代謝を促進する</u>	本剤の 効果が減弱 するおそれがあるので、本剤投与時は セイヨウオトギリソウ含有食品を摂取しないよう 注意する

授乳婦への注意

LNGは乳汁中に移行するため、
服用後24時間は授乳を避け、その間の
母乳は廃棄する



血漿中及び乳汁中レボノルゲストレルの推移 (n=12)

39

「約3週間後の産婦人科受診」を 指導する理由

- 緊急避妊薬による妊娠阻止率は**100%ではない**
- 緊急避妊薬の有効性は、服用後に性行為が行われたか否かに影響される
- 緊急避妊薬の服用により、妊娠を阻止できたかどうかはすぐにはわからない
- 緊急避妊薬の服用後に出血があっても、**消退出血**なのか**月経**なのか、**不正性器出血**や**妊娠初期の出血**なのかを患者が区別するのは難しい
- 妊娠反応（尿検査）は、排卵から14日目以降でないと陽性にならない
- 性感染症の有無を確認し、必要な治療等を受けなければならない場合がある（性犯罪や性暴力被害者など）

40

薬局での患者対応③

患者への「性に関する情報提供」

1. 緊急避妊薬の服用後も妊娠する可能性がある
2. 妊娠する可能性がある「誤った避妊法」を知ってもらう
3. より確実な避妊法を知ってもらう
4. 自分に合った避妊法を検討し、必要に応じて医師・薬剤師に相談してもらう

<性犯罪や性暴力被害が疑われる場合は、むしろワンストップ支援センターや受診可能な医療機関を紹介することを優先する>

41

よく知られている避妊法

- **コンドームを使用する**
精子が子宮内に侵入するのを防ぐ
- **低用量経口避妊薬（低用量ピル）を服用する**
卵胞ホルモンと黄体ホルモンの低用量配合剤の服用により、排卵抑制、子宮内膜の変化、子宮頸管粘液を変化させて受精や精子侵入をしにくくさせる
- **子宮内避妊具／子宮内避妊システムを装着する**
子宮内に銅イオンや黄体ホルモン剤を持続的に放出する器具を挿入して受精卵の着床を妨げる方法
- **リズム法（オギノ式／基礎体温法）**
妊娠しやすい時期を予想して、その時期の性交を避ける
- **性交中断法（膣外射精）**
性交を途中でやめて膣外で射精する

※いわゆる「安全日」はなく、避妊法ではない

※射精前からの漏れ出し等があり、避妊法ではない

42

選択されている避妊法の実態

日本

日本家族計画協会（2016年調査結果）
調査対象；満16歳～49歳の男女3000人

- 男性コンドーム **82.0%**
- 性交中断法 **19.5%**
(膣外射精) ※射精前からの漏れ出し等があり、
避妊法ではない
- リズム法 **7.3%**
(オギノ式) ※いわゆる「安全日」はなく、
避妊法ではない
- 低用量ピル **4.2%**
- 子宮内避妊具 (IUD) **0.4%**

アメリカ

Guttmacher Institute, Fact sheet
July 2018 (2014年調査結果) 15～44歳

- 低用量ピル **25.3%**
- 卵管結紮術 **21.8%**
- 男性コンドーム **14.6%**
- 子宮内避妊具(IUD) **11.8%**
- 精管結紮手術 **6.5%**

43

より確実な避妊法

避妊法		失敗率 (%)※	特徴 (長所・短所など)	
男性不妊手術 (精管結紮術;パイプ カット)		0.15	一度のみ 日帰り手術	不可逆的 精子生産機能の 低下 ～200,000円
女性不妊手術 (卵管結紮術)		0.5	一度のみ 自然分娩や帝王切 開時に行える	不可逆的 入院手術 ～200,000円
IUS (黄体ホルモン放出)		0.2	1回の装着で2～5 年効果持続	産婦人科で子宮 内装着／除去 1回～50,000円 出産経験者向け
銅付加IUD；Cu-IUD (銅イオン放出)		0.8		
低用量ピル；OC		7	簡単 ～5,000円／月 女性自身で行える	飲み忘れあり 禁忌あり (処方箋が必要)
男性コンドーム		13	～1,000円／ダース 薬局・コンビニで 買える 性感染症の予防	破損,脱落,漏れ, 装着ミス 男性主体

(出典：Robert A. Hatcher, Contraceptive Technology 21st ed., Sep.1, 2018)
※100人の女性において、一般的な方法で使用した時に1年間で妊娠してしまった数

44

薬局での患者対応④

オンライン診療における医師と薬剤師*の連携

<よりよい連携を図るためのキーポイント>

1. 患者の心理状態や社会状況を十分に考慮すること
2. 医師から提供された患者の診療関連情報に不明点があれば、
疑義照会等により医師とコミュニケーションを図ること
3. 緊急避妊薬の調剤、服用確認、服薬指導、避妊法の情報提供、
3週間後の産婦人科受診の伝達に責任を持つこと
4. 緊急避妊薬に関連する最新情報の収集と質の高い患者対応を
心がけること

(*研修修了者)

45

避妊に関する 略語・慣用語

- **LNG** : レボノルゲストレル
- **EC** : Emergency Contraceptive (緊急避妊法)
- **ECP** : Emergency Contraceptive Pills (緊急避妊薬)
- **UPSI** : Unprotected Sexual Intercourse (避妊せず
に行われた性交または避妊手段が適切かつ十分でなかつた性交)
- **OC** : Oral Contraceptives (低用量ピル)
- **LEP** : Low dose Estrogen Progestin (経口避妊薬・
月経困難症治療薬)
- **IUD/IUS** : Intrauterine Device / Intrauterine
System (子宮内避妊具 / 子宮内避妊システム)
- **STI** : Sexually Transmitted Infections (性感染症)
- **パイプカット** : 精管結紮術
- **アウス** : 人工妊娠中絶 Auskratzung(独)に由来
- **掻把(そうは)** : 人工妊娠中絶のために子宮内胎児を
体外に掻き出す(かきだす)手術

46

信頼を基盤とする関わりのために

1. 薬剤師の態度

- ・患者に対して“ヒエラルキー（上下関係）の考え方”をもたない
- ・薬剤師の主観を入れない
- ・【相手の相談に応じる】という気持ちで接する

2. 薬剤師の知識

- ・エビデンスがある／公開された／最新の**臨床薬学知識**を正しく身につける

3. 薬剤師のコミュニケーションスキル

- ・不安／不明なことは明確にしてから対応する
- ・相手が話しやすくなるように、双方向会話に努める
- ・専門的な会話に努める

47

継続的な研修



関連情報の正しい理解と情報のアップデート



研修修了薬剤師として
適切な患者対応と医療連携



「緊急避妊薬の調剤」において
薬剤師に期待されている社会的役割を担う

48